

報道機関各位

観光課 観光係

タイトル 映画「骨なし灯笼」の上映について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

| | |
|----------------|--|
| 行事・事業名 | 映画「骨なし灯笼」の上映について |
| 日時 | 令和6年7月5日（金）より |
| 場所・住所 | OS シネマズミント神戸 神戸市中央区雲井通7丁目1番1号 ミント神戸9階 |
| 趣旨・目的（PRしたいこと） | <p>赤穂市の姉妹都市である、熊本県山鹿市で全編ロケが行われた映画「骨なし灯笼」が、神戸市の映画館で公開されることとなりました。</p> <p>当映画は、3月下旬に熊本市の映画館で上映がスタートし、3か月以上が経過した現在も、好評につきロングラン上映中です。</p> <p>この評判を聞いた神戸市の映画館が、初めて熊本県外での公開を決定したとのことでした。</p> <p>ぜひこの機会に赤穂市民にもご覧いただきたいとして、山鹿市より情報提供を受けましたので、周知していただきますようよろしくお願いいたします。</p> |
| 問い合わせ先 | 部課係名： 産業振興部観光課観光係 担当者名： 山口 電話： 0791-43-6839 （内線 2261） F A X： 0791-46-3400 |

○添付資料（有）無） ○ホームページへの掲載（有）無） ○議会報告（有）無）

2024年6月25日

プレスリリース

熊本で異例の大ヒットロングラン！

5,000人が涙した…美しいのちの物語

映画 「骨なし灯籠」

7月5日～全国初！神戸公開



熊本発！オール山鹿（やまが）ロケ、夫婦二人三脚で製作した映画「骨なし灯籠」は、元テレビマンの夫と、脚本家の妻（今作で初監督）が、二人三脚で資金集めから奔走し、作り上げた作品です（2022年夏に撮影、2023年完成）。



その後、国内外の映画祭に出品、トロント国際女性映画祭で新人監督賞を受賞するなど、数々の海外映画祭で評価を得た後、2024年3月22日より熊本市のミニシアター・Denkikanにて先行上映開始。初日から三日間、満員御礼が続く大盛況となりました。その後も口コミで広がりリピーターも続出、3か月を経た現在もロングラン中です。ミニシアター単館で5000人を超える観客動員数で「地元発でも前例がない、前代未聞の大ヒット」と劇場側も驚くほど。この異例の大ヒットを受け、この度、7月5日から、神戸三ノ宮の

「OSシネマズミント神戸」

（神戸市中央区雲井通7丁目1番1号 ミント神戸9階 Tel. 078-265-1523）

での上映が決定しました。ミニシアターからシネコンへ。

地元熊本以外では、全国初公開となります。

【監督コメント】「熊本で大ヒットの噂を聞きつけた OS シネマズさんから「ウチでやりませんか？」とお話を頂いたとき、正直、全国は東京からというのが常識なので、少しためりました。しかし、**来年で阪神淡路大震災から30年。この映画は、グリーンケアの物語です。**震災を経験し、大切な人を突然失った悲しみのなかで今も暮らす、神戸や関西の方々にこそ、今、お盆を前にしたこの時期に届ける「使命」を感じました」 脚本・監督・編集 木庭撫子(こばなでしこ)

熊本県山鹿（やまが）で、毎年8月15・16日に開かれる「山鹿灯籠まつり」。

灯籠を女性たちが頭に載せて踊る「千人灯籠踊り」は、幻想的で観る者を神秘の世界へ誘います。映画はこの「山鹿灯籠」をモチーフに描かれた「いのちと再生」の物語です。

【STORY】亡き妻の骨壺を抱え、死に場所を探し、彷徨う男がいた。古き時代の佇まいを残す、熊本豊前街道の温泉町「山鹿(やまが)」で、男は祭りのポスターに描かれた「灯籠娘」に、妻・ゆかりの面影を見る。元・美術教師の男・市井祐介は、灯籠師見習い・直樹に誘われるまま働き始めるが、一年が経ち、妻の三回忌を迎えても、深い喪失と孤独は拭えない。町を出ようと決めた、祭りの日。突然、ゆかりの双子の妹だという、あかりが現れる。「あなたにお願いがあつて」千人灯籠を踊るためにやってきたという、あかり。彼女の目的とは――



**7月6日(土)7日(日)、
主演俳優陣と監督・プロデューサー
一舞台挨拶あり!**

**※6日(土)は、くまモンも
応援に駆け付けます!**

★舞台挨拶は、両日各回の上映終了後に行いますが 合間の時間に個別取材も可能です。

2024年7月6日(土)、7月7日(日)両日

9:00の回 本編上映後(本編上映終了後
11:00~11:25 舞台挨拶)

11:50の回 本編上映後(本編上映終了後
13:50~14:15 舞台挨拶)

14:40の回 本編上映後(本編上映終了後
16:40~17:05 舞台挨拶)

[映画『骨なし灯籠』公式サイト | Boneless Lantern Official WebSite \(honenashi.com\)](http://honenashi.com)

<お問合せ先> 熊本やまが映画プロジェクト (木庭民夫)
tamiokoba0802@gmail.com 090 - 3478 - 8036



Boneless Lantern



きのうとは少し違った明日を迎える

骨灯籠



水津 聡 まひろ 玲希 高山陽平
Satoshi Suitsu Tamaki Mahiro Yohei Takayama

たむらもとこ にしやうち良 知江崎ハルカ
草野 遥 政木ゆか 山本直人 杉本凌士

2024 7.5 [金] ~
OSシネマズミント神戸
(JR三ノ宮駅前・ミント神戸9F)

脚本・監督・編集 木庭撫子
directed by Nadeshiko Koba

熊本発
リピーター続出
異例の大ヒットロングラン!

7/6 [土]・7 [日] ~全国公開は神戸から! 七夕 舞台挨拶~
水津聡・まひろ玲希・高山陽平/木庭撫子監督 登壇!

7/6 [土]
くまモンが
来るよ!

亡き妻の遺骨を抱いて、彷徨う男がいた 辿り着いた場所で出会ったのは――

古き時代の佇まいを残す、熊本豊前街道の温泉町「山鹿(やまが)」
元美術教師の男、市井祐介(49)は、
祭りのポスターに描かれた「灯籠娘」に、妻・ゆかりの面影を見る。
灯籠師見習い直樹(30)のもとで働き始めるが
遺骨を手放せないまま、深い孤独と喪失感は拭えない。

町を出ようと決めた祭りの日、
ゆかりの双子の妹、あかりが現れる。
「あなたにお願いがあって」

千人灯籠を踊るためにこの町に来たという、あかり。
彼女の目的とは――

3か月前に夫を亡くし、生きる力も
失ってしまいそうな日々を過ごして
いました。
あらすじを読んで、もしまた辛くなっ
たらどうしようと、映画を観るのが少し
怖かったです。
しかし、ラストシーンのセリフに
「ああ、これは夫が私にしてくれたのだ」
と思い、涙がとめどなく溢れてきました。
たくさん泣いて映画館を出たら、
心が少し軽くなっていました。
(50代女性)

あなたの心を癒す(GriefCare)、美しい涙と感動の物語

夫婦ともに涙なしでは観れませんでした
(50代女性)

山鹿の美しさ、熊本の人々の温かさ、
伝統の技術の素晴らしさ!(40代女性)

後半からずーっと泣いてて
目が真っ赤です(20代女性)

もう少し生きてみようと思いました
(30代女性)



熊本県山鹿市
オールロケ作品



公式サイト
honenashi.com



Instagram
kumamoto_yamaga_eiga



X
@movie_honenashi

妻との時間をもっと大切にしたいくなった
(40代男性)

何度でも観たくなる、初めての映画
(50代男性)

2回観ると登場人物の心がより深く読み解ける
ロングラン納得(60代男性)



プロデューサー：木庭民夫 撮影：萩原章、山野道郎 照明：原田拓海 照明アドバイザー：木村中哉 音楽：志嶋慶香 編集アドバイザー：石松義朗 音響設計：尾方航 カラリスト：黒石信博
録音：野中拓也、西野隆博、石井良亮 スタジオ録音：千葉一繁 撮影助手：関谷優人、古家彰 制作：村川智美、西山ゆうこ、岩本穂、岡村学 タイトル文字：市川雄大 予告編音楽：農田小太郎
等演奏：藤川いずみ スチール：上野弘喜 エンディング：山鹿市立山鹿中学校合唱部「おもいでアルバム」 「山鹿灯籠まつり」ポスター：鶴田一平事務所
助成：公益社団法人 熊本県観光連盟 山鹿灯籠まつり実行委員会 後援：熊本経済同友会 熊本商工会議所 熊本県 一般社団法人 山鹿温泉観光協会 一般社団法人 平山温泉観光協会
菊鹿町観光協会 山鹿商工会議所 山鹿市商工会 一般財団法人 山鹿市地域振興公社 山鹿市教育委員会 山鹿市
企画・製作：熊本やまが映画プロジェクト

JR三ノ宮駅前・ミント神戸 9F OSシネマズミント神戸 TEL078-291-5330